

犬山城 神木大杉様

この神木は、犬山城を落雷から守るために犠牲になったと考えられています。かつては
天守よりも高かった。しかし、1965 年頃に枯れてしまった。木を伐採する代わりに、
コミュニティのメンバーはそれを保存し、城の保護者としてそれを祀った。わらのロー
プと白紙の装飾は、日本の古い宗教である神道の象徴であり、神の存在を意味します。
また幹には、毎年 6 月に中国由来の花（のうぜんかずら）が咲きます。